

AICHI PREFECTURAL LIBRARY

あゆち

No.4 ● 2007.3

愛知県図書館報



雑誌を楽しむ
雑誌で調べる

● 雑誌ってなんだろう？

雑誌とは、「一定の誌名のもと、終期を予定せず継続的に刊行される出版物」のこと。順に号数がふられ、1冊の中に複数の記事や論文が収録されているのが一般的です。一口に“雑誌”といっても、色々な種類があります。写真週刊誌、総合雑誌、学術雑誌、大学などの紀要…刊行のペースも週刊、月刊、季刊など様々です。一般書店で売られないものも多くあります。

● 雑誌の特長は？

速報性があるというのが雑誌の大きな特長です。図書よりも刊行が容易なので、最新の情報や研究成果の報告、また催事情報など図書に向かない情報も掲載できます。同じ分野を継続してあつかうため興味のある人に情報が届きやすく、より専門的な情報が提供できます。

● 愛知県図書館にはどんな雑誌があるの？

娯楽のための雑誌はもちろん、研究論文を主体とした学術雑誌や紀要類、官公庁が発行する統計や公報など、様々な種類の雑誌があります。その数、約7,500種*。県内で発行された同人誌や昔の雑誌の復刻版なども収集しています。 *復刻・非継続も含む

雑誌 いろいろ

様々な種類の雑誌をご紹介します

愛知県図書館では受入しているほとんどの雑誌を捨てずに保存しています。

雑誌は新しい情報を扱うものだから古いものは役に立たないのでは？そんなことはありません。過去の雑誌はその時代のことを調べる重要な資料となりますし、学术论文など繰り返し引用されるものは元の論文を読みたいというご要望が多くあります。書庫に保管してある過去の雑誌も、実際によく利用されています。

学術雑誌

研究論文がメインの雑誌です。大学の紀要や企業の技報などもあります。



- 刑法雑誌 / 日本刑法学会
- 日本信号技報 / 日本信号



- 缶詰時報 / 日本缶詰協会

●増刊・別冊

図書のような形態でも、雑誌の臨時増刊号や別冊の場合があります。別の雑誌に見えても実は増刊のことも…？

- サライ/小学館
- ダ・ヴィンチ / メディアファクトリー



専門誌

専門的な分野を扱う雑誌。業界誌などもこれにあたります。想定される読者が限定されており、扱う範囲が狭く深いのが特徴です。

- 月刊事務用品 / 文研社



例えば…

- 「株価総覧」▶ 週刊東洋経済 臨時増刊
- 「小説トリッパー」▶ 週刊朝日 別冊

統計雑誌

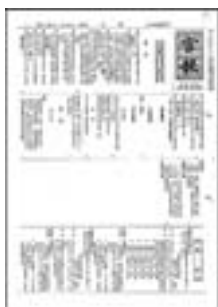
人口統計や労働統計、様々な分野の統計調査が月報や季報という形で逐次発表されます。年鑑や図書よりも早く最新の状況がわかります。

- 物価指数月報 / 日本銀行調査統計局



官報

国が発行する唯一の機関紙です。法律、政令、条例の公布や改正、国の資料や報告が掲載されます。国会の会議録も官報の号外として発行されます。



公報

国の官報にあたるものが各県発行の公報です。愛知県・岐阜県・三重県の公報があります。

●公報と広報、どちらがうの？

「公報」は都道府県が官報に準じて発行するもので、条例や規則、告示などが掲載されます。「広報」はもっと広い意味でのお知らせを指します。たとえば愛知県では「愛知県公報」のほかに「広報あいち」があり、広報については点字版・音声版も作られています。

地域の雑誌

愛知県内の地域情報誌や、この地方で発行されている同人誌、県内市町村の広報などがあります。

- そう・叢 / 春夏秋冬叢書
- 東海釣りガイド / 東海釣りガイド



この地域の古い雑誌



- 大福帳 / 丹心館
- 明治30年代に名古屋で発行されていた雑誌。新聞や雑誌から、発行者の興味があるものを抜書きしたスクラップブックのような雑誌で、当時を知る貴重な資料です。

外国雑誌

英語、中国語、フランス語などの雑誌があります。



- TIME / Time, Inc.

雑誌をさがす



●愛知県図書館ホームページ

愛知県図書館の所蔵資料は、インターネットを通じてご自宅からも検索できます。ホームページ内「蔵書検索」メニューのほか、「統計関係雑誌の一覧」等のリストを見ることができます

■雑誌・所蔵画面の見かた

【資料詳細】	
タイトル	: 週刊新潮
出版社	: 新潮社
刊行頻度	: 週刊
所蔵	: 35巻1号=1741号(1990.1.4)-
欠号	: 40巻4号
巻号	: 35巻1号=1741号(1990.1.4)-

所蔵: 雑誌の所蔵状況がわかります。
「-」で終わっているのは、以後継続して受入しているという意味。
例の場合は「35巻1号(通号1741号)」以降を継続して所蔵しています。
欠号: 所蔵していない巻・号のこと
例の場合、48巻4号は所蔵していません。

雑誌記事を 内容から探す

特定のテーマについて書かれたものがどの雑誌の何号に掲載されているかわからない時には、国会図書館が提供している雑誌記事索引を使ってみましょう。



インターネットで国立国会図書館のホームページから「NDL-OPAC」を表示して、「雑誌記事索引の検索/申込み」メニューを選びます。検索できる項目は、論題中の単語や記事・論文の著者、雑誌と刊行年月など。

「雑誌記事索引」ってなに？

国立国会図書館が作成している、雑誌記事・論文を検索できるデータベースです。国内のほぼ全分野の雑誌、約10,000タイトル(過去に廃刊された雑誌を含めると約16,000タイトル)から記事情報を採録しています。

採録対象誌は開始時点の1948年には学術雑誌のみの800タイトルでしたが、現在では「週刊ポスト」や「鉄道ピクトリアル」など一般向けの週刊誌・月刊誌、企業の技報や団体の研究報告なども採録されるようになりました(ただし、原則として2ページ以下の記事は採録されていないので注意が必要です)。採録誌一覧はホームページで公開され、順次更新されています。

雑誌記事のコピーを 手に入れるには

●愛知県図書館で所蔵している雑誌の場合

館内にあるセルフサービスのコピー機により、著作権法で許可された範囲内での複写が可能です。
白黒コピーは1枚10円、カラーコピーは1枚100円です。

●国立国会図書館の複写サービスを利用する

国立国会図書館では論文や記事のコピーを郵送するサービスを提供しています。1回に最大30件まで申込ができ、コピーの発送まで7~10日程かかります。申込み方法は郵送とオンライン(事前登録が必要)の二通りがあり、愛知県図書館でも申込書を代送するサービスをおこなっています。
コピー料金(サイズ別:A4~B4は1枚25.2円)と郵送料(実費)、梱包料が必要です。

愛知県図書館にない 雑誌を探すには

タイトルが分かっているが愛知県図書館に所蔵していない雑誌。ほかに持っている図書館がないか探すためのサイトをご紹介します。

■愛知県内図書館 雑誌・新聞総合目録

<http://www.aichi-pref-library.jp/soumoku/>

愛知県図書館のホームページ上に公開されている愛知県内図書館雑誌・新聞総合目録です。

原則として、現在継続して受け入れている雑誌について、所蔵図書館と保存年限などがわかります。

毎年4月1日時点での各図書館の所蔵状況を調査し、データが更新されています。

■NACSIS Webcat

<http://webcat.nii.ac.jp/>

NII(国立情報学研究所)が提供しているインターネット上の検索システムです。特に学術雑誌の所蔵館を検索する際の最強ツール。国内の国公私立大学・短大図書館が所蔵する雑誌のタイトルと所蔵範囲を知ることができます。

■ ■ ■ ■ こんなお問合せがありました ■ ■ ■ ■

Q. アパレル業界の人が読むような雑誌に新商品の広告を出したいのですが、どんな雑誌がありますか？

A. 『雑誌新聞総かたるぐ 2006年版』(メディアリサーチセンター)[請求記号027.5 /メテ/895430]の分野コード早見表で「アパレル」を見ると「繊維産業」「繊維・ファッション・衣料」のページへの案内があります。「繊維産業」に『ファッション販売』など41誌、「繊維・ファッション・衣料」に『繊維情報』など34誌の雑誌が掲載されています。雑誌の内容、発行部数、広告料金、読者層などの情報がわかります。

雑誌を調べる本

●雑誌新聞総かたるぐ／メディア・リサーチ・センター

国内で発行されている定期刊行物の内容、平均ページ数、定価、発行部数、読者層などについて調査してまとめた年鑑です。雑誌の内容や特徴を調べるのに便利で、タイトルのほか、ジャンルや発行社からも調べられます。



Q. 「母子保護法」の全文が見たいのですが、昭和12年頃のものだそうです。

A. まず当時の六法全書を探しましたが、愛知県図書館が所蔵する最も古い六法全書は昭和23年版でした。インターネットの「日本法令索引」データベース(国立国会図書館)で、現行法令と廃止法令を同時に検索できる「横断検索」で検索したところ、廃止法令として「母子保護法」があり、昭和12年3月31日法律第19号であることが確認できました。その情報から『昭和年間法令全書(復刻版)』(原書房)[請求記号Z320/ホ9-3]を調べると、11巻ノ2(昭和12年)に収録されていました。



●法令全書／国立印刷局(復刻版は原書房)

公布されたすべての法令を『官報』から抜粋し、法律・政令・府令・省令など法の形式別に交付年月日の順に編集したもので、毎月発行されています。慶応3(1867)年以降の全ての法令が収録されています。愛知県図書館では昭和33年から現在まで(一部欠あり)と、復刻版である『明治年間法令全書』・『大正年間法令全書』・『昭和年間法令全書』(昭和年間は刊行中。昭和20年12月まで受入済み)を所蔵しています。

平成19年4月より、祝日も開館します。
また、毎月第3火曜日の休館日を第2木曜日に変更します。

●開館時間

火曜日～金曜日 午前10時～午後8時(児童図書室・視覚障害者資料室は午前10時～午後6時)
土曜日・日曜日・祝日 午前10時～午後6時

●休館日

- ・月曜日、第2木曜日(その日が祝日(振替休日)に当たるときは開館、次の平日に休館)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・館内整理のための休館

●交通案内

地下鉄 鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車 8番出口から徒歩5分

市バス 幹名駅1系統・名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分

※有料駐車場はありますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

(最初の30分までは無料。以後30分ごとに100円。最高1,000円まで)

あゆち 第4号 平成19年3月22日発行
編集・発行 愛知芸術文化センター愛知県図書館
〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3
電話 (052) 212-2323 (代表)
(052) 212-3200 (調査相談)
FAX (052) 212-3674
URL <http://www.aichi-pref-library.jp>

